

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-136	21-309	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Acute effect of green tea catechins on uric acid metabolism after alcohol ingestion in Japanese men 日本人男性におけるアルコール摂取後の尿酸代謝に対する緑茶カテキンの急性効果		
<b>執筆者</b>		
Yuka Kawakami <sup>1</sup> , Arisa Yasuda <sup>2</sup> , Motoki Hayashi <sup>2</sup> , Misuzu Akiyama <sup>2</sup> , Toshihiko Asai <sup>3</sup> , Toshio Hosaka <sup>4</sup> , Hidekazu Arai <sup>2</sup>		
<b>掲載誌</b>		
Clin Rheumatol. 2021 Jul;40(7):2881-2888. doi: 10.1007		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
尿酸、飲酒、カテキン、緑茶		33569708
<b>要 旨</b>		
<p><b>はじめに/目的</b> アルコール摂取は高尿酸血症および痛風と関連している。これまでの研究で、緑茶カテキンが尿酸 (UA) 代謝に関与することが示唆されている。本研究では、アルコール摂取後の UA およびキサンチン/ヒポキサンチン (Xa/HX ; UA 前駆体) の尿中排泄促進という観点から、緑茶カテキンの急性効果を明らかにすることを目的とした。</p> <p><b>方法</b> 健康な日本人 10 名を対象に、アルコール 20g を含む焼酎水割り (SW) または焼酎カテキン緑茶割り (SC) の試験食を摂取してもらった。SC には合計で 617mg のカテキンが含まれていた。血清と尿の UA と Xa/HX の濃度を測定した。血液は 2.5 時間後に、尿は試験食摂取後 0~5 時間後に採取した。</p> <p><b>結果</b> 尿中 UA および Xa/HX 排泄量は、SW 群に比べ SC 群で有意に高かった (UA : SW, 0.45 ± 0.08; SC, 0.52 ± 0.09; Xa/HX: SW, 0.08 ± 0.04; SC, 0.16 ± 0.05 mg/kg/h )。UA クリアランス (C<sub>UA</sub>) および UA 分画排泄量 (FE<sub>UA</sub>) は、SW 群よりも SC 群で増加する傾向があった (C<sub>UA</sub> : SW, 7.76 ± 2.14; SC, 8.75 ± 2.23 mL/min/1.73 m<sup>2</sup> ; FE<sub>UA</sub> : SW, 6.08 ± 1.36; SC, 6.64 ± 1.42% )。血清 UA 濃度および Xa/HX 濃度は 2 群間に有意差は認められなかった。</p> <p><b>結論</b> 緑茶カテキンは、アルコールを摂取しても、UA と Xa/HX の排泄を促進することができる結論づけられた。</p>		